



2学期は、飯森祭を始め多くの行事がありました。部活動は、3年生を引き継いだ1・2年生の活動となっています。子どもたちはこれらの活動を通して、仲間とのつながりを深め、協力することの大切さに気付くことができます。また、自分を見つめ直すことやこれからの抱負を抱くことも可能となります。多くのことを学んで、一回り成長した生徒たち。2学期の終業式で代表の生徒が意見発表をしました。その一部を抜粋して紹介します。



1年8組 佐藤 直美

野外活動。それは1年生で最も大切な学年行事です。私は、挑戦してみたいという気持ちから、運営委員長になることを決意しました。

最初のうちは、やはり分からない事ばかりで、部活の時間を削っての話し合いが続き、みんなで意見を出し合い、あいさつや整理整頓、しおり暗記の三つのプロジェクトを企画しました。「大変だね。」と言われることもありました。その度に学年スローガン「292人のスマイル」を思い出し、全員笑顔で、野外活動を成功させたいという気持ちが強くなりました。

野外活動当日、1日目はいろいろなことがうまくいかず、運営委員で集まって反省をしました。プロジェクトの成果が発揮できているのかと不安にもなりました。しかし、話し合いをする中で、全員が目標を達成し、笑顔で終えてこそその野外活動という考えを改めて確認することができました。2日目、3日目と日が進むにつれて問題も解消し始め、学年が一つになっていくのを感じました。乙中に戻るバスの中、乙中に着いてからでもみんなの顔は笑顔で、私は運営委員長、緑学年の一員として野外活動に行くことができ、本当によかったと思いました。

これから冬休みを迎えます。そして3学期には、職業講演会という大きな行事があります。職業のプロの方たちをお招きして話を聞くこの会は、私たちの将来の夢を見つける第一歩です。3学期の私の目標は、野外活動で学んだことを生かしながら、職業講演会を緑学年全員で成功させることです。そのためには、今ある課題や問題点を見つめ直し、次に生かす努力をすることが大切です。これからも個人、学級だけではなく学年全体で成長し、お互いを高め合っている緑学年を目指してがんばっていきます。

2年2組 岡田 葉苗

私の部活動の目標は「来年度も顧問の先生を県大会に連れて行く」ことです。

私はソフトボール部で、日々練習に励んでいます。今の1・2年チームは、1年生6人、2年生5人の11人です。はじめは、1年生が9人入ってくれたのですが、とても残念なことに3人転部してしまいました。今の人数は決して多くはありませんが、声はこの部活にも負けていません。

私は今、ピッチャーとサードを兼任しています。試合の途中で交代すると大変ですが、そのポジションでしかできない体験ができるのでとても楽しいです。

ピッチャーでは、初めの頃、10球に1球の確率でしかストライクが入りませんでした。その様な状態ではとても試合にならず、本当に悔しかったです。練習の時にはきちんとストライクゾーンに入るのですが、いざ「試合」となると、緊張してしまい、入らなくなってしまいます。でも、ネットに投げ込む練習等を積み重ね、ストライクがたくさん入るようになりました。先日の公式戦では、初めて勝利し、優秀選手賞をもらうこともできました。これからも今までの努力を忘れず練習に励み、もう一人のピッチャーに負けないように頑張っていきます。

これまで、3年生の先輩方とたくさん思い出を作らせてもらいました。半田祭や洲の崎杯で勝ち、たくさん表彰を受けました。そして、郡大会では、準優勝することができました。県大会が決まったときには抱き合って喜びました。県大会の一回戦でも勝つことができ、勝つ喜びをたくさん味わうことができました。たくさんお世話になった先輩方はもう引退しています。だから今は、新チームで力を合わせて頑張ることが大切だと思っています。今まで先輩にしてきてもらったことを次は1年生にしていきたいと思います。日々の練習を大切に、一戦一戦全力を出し、県大会出場に向けて頑張っていきます。



3年8組 新美 友基

3年生の2学期を振り返ってみると、合唱コンクールや飯森祭など、すべての行事に対して、「最後の」という言葉が付け加えられました。その行事を無事に終えた後は、やりきったぞという充実感や達成感を味わうと同時に、これで終わってしまうんだなという「寂しさ」のようなものも感じました。

さて、僕たち3年生には今、人生で最初の「自分の行きたい道へ進むことができる」大きなチャンスが与えられています。しかし、勉強に全力で励まなければ、そのチャンスはむしろピンチへと変わってしまいます。また、今までの人生で初めて感じているものもあります。それは、「受験へのプレッシャー」です。1学期の頃は心のどこかに甘えがあり、「まだいいかな」という気持ちがありました。しかし、夏休みが終わり2学期に入ると、受験の足音がどんどん近づいてくるようになり、心の中から余裕というものは完全に消えました。受験へのプレッシャーは人によってももちろん違います。「常に見られているというプレッシャー」や「結果を残さなければならないプレッシャー」など様々です。そうなる心も次第に落ち着かなくなります。でも、心を落ち着かせ、自分を見失わないようにここまで頑張ってきたのは、僕たちがそれぞれ目指す進路が「自分しだいにつかめる夢」だからです。先生方が、教室や通信などで様々な情報を与えてくださいます。それらを生かして自分に合った進路を考えることができ、その希望をかなえるためにしなければならないことが明確になってきています。受験まであと少しです。厳しい冬を乗り越え、良い春を迎えられるよう、このまま頑張りたいと思います。

そして最後になりますが、僕たち3年生はあと2ヶ月半で卒業します。その間、全員で前を向き、この一度しかない中学校生活が最高だったと胸を張って言えるように一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



表彰の記録

- 第22回半田市協会長杯ソフトボール大会
中学女子の部 準優勝 (優秀選手 岡田栞苗)
- 半田市バレーボール協会長杯 中学女子 第3位
- 第11回フレッシュリーグ「安城野球大会Bリーグ」 第3位
- 第33回半田市民マラソン大会
3km 中学女子1年 第6位 中川 雪
- 平成26年度冬季半田市中学校ソフトテニス大会
第3位 小栗孝裕 倭 悠大
- 第15回冬季半田市近郊学年別バドミントン大会
女子1部リーグシングルス第3位 平岡 月菜
- 第66回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
ボスターの部(県)銀賞 木下那々華
" (県)佳作 伊藤 楓
" (市)入選 山本なつめ 竹内 梨湖
書道の部 (県)佳作 増田 隼人
" (市)入選 厚味 流華 榊原すずか

- 平成26年度中学生の税に関する作文
全国納税貯蓄組合連合会長賞 榊原すずか
半田青色申告会会長賞 西村尚斗
半田商工会議所会頭賞 杉倉悠伊
" 作 杉山伊楓
" 山田
- 第34回全国中学生人権作文コンテスト
愛知県大会入選 杉江真悠
半田市奨励賞 久野七海 澤田春那
小倉和沙 新美 蓮
藤井莉子
- 平成26年度新美南吉読書感想画コンクール
半田市長賞 安藤 萌
優秀賞 大羽あや 小西祐輔
- 第20回ふるさとの風景絵画写真コンテスト
絵画部門(中学生)わたしのはんだ賞 磯部有哉
" 伊東桃香



今後の予定

- 1月14日(水) 3年学年末テスト(～16日)
- 19日(月) 集金引き落とし日
- 20日(火) 就職者一斉選考日
- 28日(水) 3年保護者会(～30日)
- 29日(木) 私立専修推薦入試
- 30日(金) 1・2年実力テスト
- 2月2日(月) PTAあいさつ・パトロール
- 4日(水) 私立一般入試(～6日)
- 4日(水) 入学説明会
- 5日(木) 1年合唱コンクール・2年学校公開
- 10日(火) 2年合唱コンクール・1年学校公開
- 17日(火) 公立推薦入試・集金引き落とし日
- 18日(水) 1・2年学年末テスト(～20日)

達成しました！

12月18日までの100日間、無事故・無違反を達成しました。2学期の終業式で、生活委員長の間瀬さやかさんが、半田警察署から表彰状を受け取りました。



自転車無事故無違反100日ラリー

【記事に関する連絡先】乙川中学校 榎 新美勲 28-0717